

一般財団法人 語学教育研究所主催

基礎講座 2017 「英語の授業は英語でアクティブにー中学でも高校でもー」

場 所：語学教育研究所研修室

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 6-36-13 サザンパレス西日暮里 102 号室

TEL 03-5901-9214 FAX 03-5901-9215

時 間：前期・後期は午後 1 時～4 時 夏期集中講座は午前 9:30～12:30 午後 13:30～16:30

定 員：原則として毎回 20 名

参加費： 会員 半日 3,000 円（1 日 5,000 円） ※1 日とは 8 月の午前午後両方参加の場合です。  
（※学生で会員の場合は 半日・1 日ともに 1,000 円）

一般 半日 5,000 円（1 日 10,000 円） 学生 半日 2,000 円（1 日 3,000 円）

申込方法：1 回ごとに語研ホームページの「語研基礎講座」からお願いいたします。

<http://www.irlt.or.jp/>

年間予定表（裏面に内容詳細）

通年 前期

日 程	内 容	講 師
5月21日(日)	第1回「授業づくりの基礎・基本」	小菅 和也
6月11日(日)	第2回「導入から言語活動まで（文法事項中心）」	小菅 敦子
7月23日(日)	第3回「導入（題材内容中心）」	江原 一浩
9月 3日(日)	第4回「音読から話す活動へ」	吉田 章人
10月15日(日)	第5回「聞く・話す活動から書く活動へ」	馬場 千秋

夏期集中（各日とも上段が午前、下段が午後）

日 程	内 容	講 師
8月9日(水)	第1回「授業づくりの基礎・基本」	小菅 和也
	第2回「導入から言語活動まで（文法事項中心）」	田島 久士
8月10日(木)	第3回「導入（題材内容中心）」	矢田 理世
	ア・ラ・カルト「綴りと発音の話」	手島 良
8月11日(金・祝)	第4回「音読から話す活動へ」	淡路 佳昌
	ア・ラ・カルト「テストの作り方」	田島 久士
8月12日(土)	第5回「聞く・話す活動から書く活動へ」	山崎 勝
	ア・ラ・カルト「授業に役立つプレゼンソフト活用術」	草間 浩一

通年 後期

日 程	内 容	講 師
11月 5日(日)	第1回「授業づくりの基礎・基本」	浅野 伸子
12月23日(土)	第2回「導入から言語活動まで（文法事項中心）」	大内 由香里
1月28日(日)	第3回「導入（題材内容中心）」	四方 雅之
2月18日(日)	第4回「音読から話す活動へ」	淡路 佳昌
3月21日(水・祝)	第5回「聞く・話す活動から書く活動へ」	山崎 勝

※第1～5回の内容は、基本的な内容はほぼ同じですが、講師によりテイストが異なります。

# 基礎講座 2017 「英語の授業は英語でアクティブにー中学でも高校でもー」 内容詳細

## 第1回 「授業づくりの基礎・基本」

講師：小菅 和也（武蔵野大学） 5月21日（日） 8月9日（水）

浅野 伸子（東京都立小山台高等学校） 11月5日（日）

英語の授業を英語で進める際に、どのような原則があるのでしょうか。また、英語の授業を効果的に組み立てていくためには、どのような点に注意しなければならないのでしょうか。このような、授業づくりの基礎・基本について考えます。5回にわたるシリーズの「導入・概論」にあたる講座です。

## 第2回 「導入から言語活動まで（文法事項中心）」

講師：小菅 敦子（元東京学芸大学附属世田谷中学校教諭、東京女子大学等非常勤講師）

6月11日（日）

田島 久士（東京都大田区立糎谷中学校） 8月9日（水）

大内 由香里（東京都荒川区立第九中学校） 12月23日（土）

文法を教えるとは、単に明示的にルールを説明することだけではありません。日々の授業でどのように扱っていけばいいのでしょうか。中学校での実演をもとに、1つの新出文法事項を学習者が実際のコミュニケーションの中で使えるようにするための方法と考え方を提示します。高校の「英語表現」のヒントにもなると思います。いよいよ、中学校でも「英語で授業」を行うべきことが次の学習指導要領に明記されました。みなさんと一緒に、文法指導について再考していきたいと思ひます。

## 第3回 「導入（題材内容中心）」

講師：江原 一浩（筑波学院大学） 7月23日（日）

矢田 理世（筑波大学附属高等学校） 8月10日（木）

四方 雅之（成蹊中学・高等学校） 1月28日（日）

導入では、オーラルイントロダクションにより、教師が生きたインプット源となり、既習語句や表現を用いて、生徒とやり取りを重ねながら、題材内容を生徒に理解させます。この活動の要となるのが板書計画で、学習内容を具体的にイメージ化して、生徒の英語理解を視覚的に支援する板書の設計図です。オーラルイントロダクションをより有意味なコミュニケーション活動とし、生徒の英語理解の重要な足がかりとなるのが板書計画に焦点を当てつつ、導入活動の一例を紹介しします。

## 第4回 「音読から話す活動へ」

講師：淡路 佳昌（大東文化大学） 8月11日（金・祝） 2月18日（日）

吉田 章人（日本女子大学附属高等学校） 9月3日（日）

本文の導入と説明のあと、どのように変化を持たせて繰り返し音読をさせるか、どのような点について指導を加えるか、さらに、音読の成果を土台として、いかにして発表活動につなげていけばいいかについて考えます。

## 第5回 「聞く・話す活動から書く活動へ」

講師：山崎 勝（埼玉県立和光国際高等学校） 8月12日（土） 3月21日（水・祝）

馬場 千秋（帝京科学大学） 10月15日（日）

オーラル・イントロダクションにより生徒の発言を引き出し、それをもとに書く活動につなげる授業展開を考えます。教師によるコントロールを徐々に緩めて、生徒に自分の言葉で書かせる指導方法を提案しします。

## ア・ラ・カルト 「綴りと発音の話」〈夏期集中のみ〉

講師：手島 良（武蔵高等学校中学校） 8月10日（木）

単語の綴りを覚えるのに、ローマ字読みを“活用”している生徒はいませんか。けれども英語の母音字はローマ字読みでは太刀打ちできません。綴りと発音の関係を知れば、英単語の綴りを覚える労力も減りますし、初見の語も正しく発音できるようになります。英語力の基本の1つである phonics の指導法を紹介しします。

## ア・ラ・カルト 「テストの作り方」〈夏期集中のみ〉

講師：田島 久士（東京都大田区立糎谷中学校） 8月11日（金・祝）

オーラル・ワーク中心の授業を行った場合のテストのあり方について、授業中に行う小テストから定期テストまで、具体例を挙げて考察しします。実際に参加者の皆さんの作ったテストも検討してみたいと思ひます。各自必ず25部印刷してお持ち寄りください。

## ア・ラ・カルト 「授業に役立つプレゼンソフト活用術」〈夏期集中のみ〉

講師：草間 浩一（武蔵高等学校中学校） 8月12日（土）

PowerPoint や Keynote のようなプレゼンソフトを授業で活用するための know-how を探ります。教育用ソフトがなくても、生徒1人に1台のPCがなくても、ただ教員用PCかスマホさえあれば実施できる、ITCを活用した授業をワークショップ形式で考えます。